

地域資源認定取得！「葉脈の廣松突板」定着を目指して！

福岡県中央会は、中小企業が地域の産業資源を活用して、売れる新商品・新サービスの開発・生産等を行う「地域産業資源活用事業計画」の認定からフォローアップまでの支援を行っています。

今回は、「葉脈を表面の凹凸がでない特殊製造技術で貼加工した製品の開発及び販売促進事業」で九州経済産業局より認定を受けた有限会社廣松突板の廣松武友社長にお話を伺いました。

突板（つきいた）といえば希少性の高い木材を薄くスライスしたもので、家具や建築物の内装、楽器等の装飾表面材として広く使用されていますが、認定商品である葉脈突板とはどんなものですか？

突板化粧合板の下地に葉脈を貼ったものです。この技術は現在特許申請中ですが、プレス加工することで葉脈を貼ることができます。葉っぱをどのように貼るかがポイントです。

葉脈として使うには、パチッと折れるような硬い葉っぱでないと難しいので種類は限られてきます。適した葉としては、今のところ菩提樹、こぶし、柊等が挙げられます。1種類の葉でも大きさやかたちが種々あり、様々な動きが表現できます。

これらの葉脈突板の認定商品は本物の葉ということが1番の売りです。本物の葉だということが大抵のお客さんが驚いて興味を持ってくれます。何も言わなければプリントと思われるようです。

葉脈突板の引合いはどのようなところから来ますか？

施行例としてはテーブル、建具、マンションエントランス、腰壁、衝立等があります。理想



「大川 匠の世界コレクション」(太宰府・九州国立博物館)に出展した葉脈突板



モデルルーム

としては店舗、高齢者施設、公共施設の廊下等での癒しの演出の一部や額に入れた美術品として使ってほしいですね。用途は私達が思う以上にお客さんに思いついてもらうことの方が多くのように思います。

地域資源の認定をとったきっかけとは？

地域資源の認定については、私の所属する大川化粧合板工業協同組合の当時の理事長の中村理事長に中央会を紹介してもらい、中央会に説明に来てもらい制度を知りました。

認定申請で苦労した点等ありますか？

認定申請にあたり、中小機構のアドバイザーや専門家の先生には、大変よくフォローして頂き、苦労したと思っていません。審査のプレゼンテーションも苦にはならずむしろ勉強になりました。私は人前で話すのは得意ではありませんが、自分で考案したもので自信を持ってアピールできて良い経験になりました。

認定をとって良かった点はどんなことでしょうか？

認定を受けているということで、自信を持って商品を薦められることです。展示会等でも、胸を張ってアピールできます。認定をとることで色々な媒体で紹介して頂けるのもよかったです。

プロ向けの資料にも取り上げてもらっています。

これから認定に挑戦される企業さんも補助金だけでなく、色んな活用の仕方ができると思います。少額で出展できるような展示会等が増えたとさらによいと思います。

補助金はどのように活用されていますか？

23年度には東京と北九州市の展示会への出展、遠方への商談の交通費、商品説明用パンフレット・DVD作成等に活用させて頂きました。

ただ、弊社のように少数精鋭で営んでいる企業は書類の作成や整備に人を割くことが難しいものなので、提出書類等を簡素化してもらえるとより制度を利用しやすくなると思います。

また、税金なので大切に使うなくてはならないのは勿論ですが、補助金が出るまでのつなぎ資金についても考慮してもらえるとより活用しやすくなると思います。弊社は今期は資金の余裕があったので挑戦できましたが、補助金を使うにも、つなぎ資金に苦慮されている企業はあると思います。借入という方法もありますが、金利がつきますし、まだ芽が出るかどうかかわからないような事業には投入しにくく、補助金を使うこと自体躊躇されるのではないかと思います。

ところで葉脈突板以外にも面白い取組をされていると伺いました。

組木のことでしょうか。取り組みだして15年程になります。干支やお雛様、バイク等様々なものがあり、図面としては700～800種類持っています。ハローキティのキャラクター使用には勿論(株)サンリオのライセンスを得ています。当



社のような丸みのある組木は日本でも5社しか製作していません。この組木の厚み、繊細さ、丸みは特殊な機械を使わないとできないのでそれ



廣松社長は大川化粧合板工業協同組合青年部の愛称「銘粧会」の名付け親

らが1番の特徴です。コンピュータは使わず全部手作業で製作します。今年2月に九州国立博物館での「大川匠の世界コレクション」に出展した際も好評でした。

組木に取り組みだされたきっかけとは？

自画自賛になってしまいますが、私は結構手先が器用なのです。妻が、私が老後何かできるようなものを今から見つけておいたほうがいいと言い、北海道で組木作りをしている職人の方をみつけて私に教えてくれました。妻に背中を押されて北海道の旭川に1週間程集中して修行に行きました。

どのような人が組木を購入されるのでしょうか？

成人女性や外国からの観光客の方に購入して頂いているようです。成田空港では月に数個買われていたようなのですが、震災後は外国人観光客が減ったことで当商品の売上も減りました。

今後の御社の事業展開について教えてください

現在の葉脈突板の事業を大きく育て、中身を濃くしていきたいと思います。「葉脈の廣松突板」と定着して呼ばれるようになりたいです。

(文責：企業支援室 小原)

お問い合わせ先

企業名：有限会社廣松突板
所在地：福岡県大川市大字三丸812番地2
TEL：0944-88-1700
FAX：0944-88-1701
URL：<http://hiromatsu-leaf.jp/>